



小川自治会「防災に関するアンケート」集計結果

小川自治会 防災対策部

総評

- ◇ 回収率が50%を超え会員各位の防災に対する意識の高さが伺える。
(自治会のアンケートでは通常42, 43%)
- ◇ 種々の条件付きも含めて参加可能な方が実に325名に上った。
(参加: 159、条件付き参加: 166) <回答数の53%>
- ◇ 高齢や体力的な問題で参加不可能と回答された方が多い。
(自治会も益々高齢化が進んでいる)
- ◇ 一方自宅の備えが不十分の方が多。
(項目によって異なるが充足率は40%~60%)
- ◇ 市の耐震診断希望者が41名おり、自治会としてまとめて対応する必要検討。
- ◇ 同じ支部・班でも公園が2、3に分かれる。
組織の再編成及び個人単位の拠点の把握が必要か?
- ◇ アンケートの説明の不備もあり、防災隊もパトロール隊のように
日常活動をしょっちゅう行くと理解された方もある。
日常活動はぜひ年数回、休日昼間に講習と訓練と会議を行う程度
と説明すればさらに参加者は増えると思われる。2次募集?

1. 回収率

会員数=第7支部1班の法人会員5を除く

支部	会員数	回収数	回収率	参加可	条件付き
1	142	96	67.6%	21	28
2	179	82	45.8%	22	25
3	76	38	50.0%	6	7
4	62	25	40.3%	9	7
5	91	64	70.3%	20	17
6	65	25	38.5%	3	7
7	127	107	84.3%	33	30
8	121	52	43.0%	16	15
9	155	63	40.6%	16	14
10	95	26	27.4%	5	6
11	96	36	37.5%	9	10
合計	1,209	614	50.8%	160	166

2. 自主防災隊について

2-1. 参加可能ですか？

可能	160	一部の人に任せるのではなく出来る範囲で協力を何の特技も技能もないが出来ることがあればやります 能力・技能とも劣るが義務と考えた
条件付可能	166	仕事しているので休日なら、スケジュールしだい 普段は多忙緊急時のみ可、商店街の役が終われば 体調しだい、高齢の親がいる、当番制で任期があれば 子どもがいるので学校へ行っている時間帯なら 全員参加なら、一般隊員なら、高齢なので軽い仕事なら 防災隊活動をもう少し理解してから 日常時は良いが緊急時は小学校優先 海外出張が多いので国内にいるときのみ 福島で数回炊き出し経験あり時間が許せば給食担当で
不可能	281	高齢、身体障害、病気、体力に自信がない 時間に不規則な仕事をしている、幼児がいる 共稼ぎでほとんど家にいない、勤務先の防災優先 要介護者が自宅にいる自助優先、店舗のため夜間は不在 公務員で防災時緊急対策要員になっている 報道関係勤務なので緊急時は仕事優先 消防団なので緊急時は無理、日常時は必要なら支援可
無回答	7	

(以下は可能又は条件付き可能者のみ)

2-2. 参加できる場所は？ (複数回答可)

本部	せんげん公園	下小川公園	かえで公園	蜂谷戸公園	柳谷戸公園	青パト隊
6	79	65	19	67	74	7
合計						316

2-3. 参加出来る分野は (複数回答可)

責任者	情報広報班	避難誘導班	消火班	救出救護班	給食給水班	合計
5	42	78	28	26	129	307

2-4. 活動出来る時間帯は (複数回答可)

平日昼間	平日夜間	休日昼間	休日夜間
168	48	102	46

2-5. 災害時に役立つ一技能 (複数回答可)

無線	看護師経験	保母経験	消防士経験	井戸有	大工経験	土木経験
5	1	13	2	4	5	7

3. 援護の必要性について

3-1. 独自で避難可能か？

可能	521
援護が必要	79

3-2. 要援護者は？

高齢者	障害者	年少者	病人
43	16	20	1

4. 我が家の防災の備えは

耐震補強	済：226	未：274	充足率	45.2%
市の診断希望：	41			
転倒防止装置	済：310	未：256		54.6%
火災警報器	済：366	未：193		65.5%
防災備蓄品（非常食・飲料水は3日分以上備えがあるか）				
非常食	充分：243	なし又は不十分：353		40.8%
飲料水	充分：362	なし又は不十分：243		59.8%

5. その他 ご意見・ご要望など（順不同）

- ・東日本大震災や阪神淡路大震災でも避難先の寝具に苦労していた各家庭で寝袋を装備したらどうか（登山に使うような高級品は必要ない）
- ・独立した防災隊を作ることに賛成ではない、今の自治会の支部・班の組織を有効利用すべき
- ・毎日防犯パトロールご苦労様です
防災隊もパトロールのように活発だとよろしいですね
- ・自治会役員のボランティアの活動に頭が下がります。ご苦労様です
私たちも可能な限り何らかの形で防災隊に加わるべきと思います。
- ・パトロール隊のリーダーみたいに任期がないとやりにくいので、少なくとも責任者は2年なり3年なりの任期とし交代制にすべき
- ・防災マップに周りの自治会、井戸、AEDの場所などを追加してほしい
- ・近くの井戸の情報を知りたい
- ・小川の実態に即した活動マニュアルが必要では
訓練の内容もそれに合わせて
- ・井戸の確保、各公園に井戸を掘れないか
- ・風呂の水は常に張っておくことを奨励する。濾過用の薬品もあるので
- ・平日、休日、昼間、夜間に分けた体制が必要では？検討課題
- ・自治会未加入者の加入を促進したら
- ・市の防災無線が聞こえないので改善してほしい（1支部5班）
- ・防災体制にあわせて飛び飛びの支部・班の再編成をすべき